

## 第14回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成19年2月16日(金) 14:30～16:30

2. 開催場所：日本原子力技術協会 A会議室

3. 参加者 (順不同, 敬称略)

委員：濱名(東京電力), 坂元(関西電力), 尾形(北海道電力), 名原(中国電力), 佐野(日本原電), 市川(電源開発), 浦野(日本原子力技術協会), 鎌田(四国電力), 布谷(北陸電力) (計9名)

代理出席者：佐久間(東北電力・飯塚), 水口(九州電力・藤井) (計2名)

欠席：田中(東京電力), 井川(中部電力) (計2名)

オブザーバ：後藤(原子力安全・保安院) (計1名)

事務局：長谷川, 大東(日本電気協会) (計2名)

4. 配付資料

資料 14-1 運転管理検討会委員名簿

資料 14-2 第13回運転管理検討会 議事録(案)

資料 14-3 規格廃止案に対する意見受付公告について(案)

資料 14-4 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」に対する要望意見への回答

資料 14-5 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(案)

資料 14-6 「「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」へのコメント」についての検討結果(案)

資料 14-7 「原子力発電所運転責任者の判定に係る規程」に対する意見(後藤委員)

参考資料1 第10回運転・保守分科会議事録(案)

5. 議事

(1) 会議定足数の確認について

委員総数13名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて11名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。

(2) 代理参加者及びオブザーバ参加者の承認について

上記, 代理出席者2名およびオブザーバ1名の会議参加並びにオブザーバからの意見陳述について, 検討会主査から承認された。

(3) 前回議事録(案)の承認

事務局より, 資料14-2に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 承認された。

(4) 第10回運転・保守分科会議事録(案)および第23回原子力規格委員会議事の紹介

事務局より, 参考資料1に基づき, 第10回運転・保守分科会議事録(案)および第23回原子力規格委員会議事が紹介された。

( 5 ) JEAG4801「原子力発電所の運転マニュアル作成指針」廃止提案の公衆審査対応について

事務局より、資料 14-3 に基づき、JEAG4801「原子力発電所の運転マニュアル作成指針」廃止提案の公衆審査対応について説明があった。本件は、原子力規格委員会の書面投票にて可決となったので、今後、公衆審査に移ることが報告された。

( 6 ) 外部からの意見への回答案の審議

事務局より、資料 14-4 に基づき、原子力発電所運転責任者の判定に係る規程への外部からの意見への回答が紹介された。本件は、第 23 回原子力規格委員会にて了承されており、今後、HP への掲載および質問者への回答を行なうこととなる。

( 7 ) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程 制定案および運転責任者の判定に係る規程(案)に対する意見への対応案検討

濱名主査より、今後まとめていく補足資料について議論が行なわれた。

主なコメントは以下のとおり。

- 1)資料のまとめかたや入れた方がよい視点など、気付き事項があれば、その都度コメントをお願いしたい。
- 2)訓練センターでの訓練には、保安規定に基づく保安教育という位置付けもあるので、全電力でその扱いが同様であれば、その旨を記載してはどうか。

実態を確認して検討を行なう。

- 3)運転責任者受験申込者数と合格者数の推移を説明する際に、新規だと約 90%以上が合格で、更新だと更新できなかった者はいないとなるが、更新の際の確認の仕方が甘いのではないかと指摘される恐れはないか。

実際には、新規も更新も同等に確認が行なわれている。表現については検討を行なう。

- 4)資料 14-6 コメントへの検討結果については、補足資料のまとめ具合をみて、必要に応じて見直しを行なう。
- 5)口答試験に筆記試験が加わることについて、より多くの出題が可能となるということだが、現行の試験で足りない部分があるという議論になるおそれはないか。
- 6)現行で3年に一度確認を受けているが、保安規定で品質目標として実施しているのであれば、その位置付けも記載してはどうか。

各社のQMSの作り方にもよるので、実態を踏まえた記載にする必要がある。

- 7)JEAC が成案となって、技術評価 エンドース 告示廃止となった場合、JEAC の中に告示の内容を記載しているが、その扱いはどうなるのか。

告示廃止後に、何らかの方法で技術評価によって省令 12 条 3 項の解釈として結び付けられることを表明する必要がある。

- 8)外部委員会は不要と言えるのか。

運転責任者については法令要求があるし、国の確認を随所で受けられるので、PDのような諮問委員会を設けるのは過剰と考えられる。

( 8 ) その他

1) 今後のスケジュール

3月16日(金) 第11回運転・保守分科会

4月17日(火) 第24回原子力規格委員会

2) 次回運転管理検討会は、2月27日(火)開催予定とした。

以上